

## 教育問題

**Q** 学校週5日制が定着し、授業時間の確保が難しいと考える。授業時間をどのように確保しているのか。現在多くの自治体が2学期制を採用しているが、どう考えるか。

**A** いじめは10月までで小学校が3件、中学校が19件。いじめの判断基準に問題があるのではないか。案外無視するというのが、重要だと思うがどうか。いじめられる方にもそれなりの理由があるとの発言もあるが、やはりいじめる側が100%悪いと考えるがどうか。

**A** 加西市の授業時数は980時間を既に確保しており十分だと思えます。試験回数、通知表、家庭訪問など、2学期、3学期の比較をしたときのメリットはそうないので2学期制に移行する必要はないと判断しています。ただ、確かに2学期制が増えてきていますので、引き続きトレースをしていきたい。

いじめの判断は、現場的には難しいと思います。ぜひしっかりと見ていじめはあつてはな

らないという基本的な理解にたつて、生徒の日常的な観察が第一です。家庭での変化がないか、家庭との連絡連携も大事だと思えます。命の大切さ、生きる喜びがわかる学校にすることが王道と考えます。

無視は、簡単にでき、かつすぐに広がっていく行為で、しかし受ける者には物すごく痛いことで重視しています。いじめられる方にも理由があるとは立っています。いじめは絶対的な悪だと考えます。

## 市長の政治姿勢

**Q** 首長と議会の関係は車の両輪、片方が暴走したり違った方向に進むと、脱輪や横転してしまう。中川市長は、最近議会を軽視した行動や発言が多過ぎる。市政をより効率的に運営するため、冷静に考え、正常な関係を構築されることを強く望む。

**A** 首長と議会の望ましい関係と、現在の首長と議会の関係をどう考えるか。正常な関係を構築する努力をする考えはないか。

**A** 執行者と議会の関係は、一方だけが努力しても、他方にその意識がなければ良好な関係構築は難しい。お互いの権能や立場を理解し、高度な議論を戦わせて市政に取り組んでこなかった結果が、大幅な赤字財政や市政改革の遅れをはじめ、加西市のいまなお惨めな状況になっていると思っています。

議会軽視の言動ということですが、私は選挙での立場を超えて是々非々で対処してきました。前向きな議論にならないとすれば、私の対応も改めざるを得ません。なれ合うことなく、またしがらみもなく、適度な緊張感を持って、市民本位で政策論争していくべきなのは、議会も同じだと思います。私はこれからも議会と良好な関係を保つように努力しますが、首長が変わって、これまでのやり方を私が見直そうという時期ですから、議会の皆さんも新たな政治姿勢で対応していただきたい。

## 幼稚園について

**Q** 公立6園、私立6園の構想で、九会幼児

園も立ち上げに一番大きな問題は、田原保育園の存続問題です。一旦は田原保育園を残す方向で検討とのこと。地元保護者の方々は、残しても残すものと思っておられたところ、ここにきて九会幼児園に統合とのこと。地元の方々にとしては納得がいかないのも当然。市長は田原保育園を残す方向で最初考えていたのだから、みずから地元へきちつと説明責任を果たされてはどうか。

**A** 現在は3園統合の方針です。田原保育園を残せる方法をいろいろと思索し、私立保育園の分園とすることも含め、特色ある地元の園なので、種々検討、また打診もしましたが、最終的に条件にかなうところがありませんでした。公募も、市内の保育関係者の利害関係が大変強く、よそ者は入れたくないという地域ですので、反対があったように理解しています。こういう話は利害関係者だけの声を聞くと、判断がつかないので、最終的に加西市の5年さき、10年さきを考えて判断

すれば間違いないと思います。時期が到来すれば説明会へ市長の参加出席も考えますが、私が田原に関しては今詳しく知識がありません。私がいきなり出て、とんちんかんな答弁をするよりも、教育長以下で対応する方が、当面はいいと思います。

## 生涯学習の推進

**Q** 生涯学習は、時代の変化の中で中身が変わってきている。自分の能力開発と地域の活性化・振興とを結びつけるような企画や講座を、今後公民館として呼びかけていく必要があるのではないか。

**A** 各公民館を拠点にして特色ある地域づくりを展開していたらと思うが、積極的に自分も楽しみながら、公民館の仕事ができるような若手職員の見習い等、十分な職員体制も必要になるのではないかと。公民館の推進体制の強化をどう考えるか。

**A** これからの公民館は、社会教育の重要な拠点施設として積極的に進めていかねばならないと思